

# 社会福祉法人日本聴導犬協会 2018 年(平成 30 年)度事業計画

2018 (平成 30) 年 4 月 1 日～2019 (平成 31) 年 3 月 31 日まで

2018 年度事業計画書	
概要	
1	<p>★国際貢献:「オリンピック&amp;パラリンピック時の海外からの補助犬受入れ事業」</p> <p>① 受入れ説明と一時認定証の交付について日本文&amp;英文 WEB アップ</p> <p>② 認定証発行のための空港でのアセスメント</p> <p>③ アセスメントのための ADAA スタッフ養成講座 を実施していく予定です。</p> <p>★3 回目 ADI(アシスタンスドッグインターナショナル:世界約 170 団体加盟)認定更新試験</p> <p><b>I. 聴導犬・介助犬事業</b></p> <p>2018 年度認定予定者数:計 3 チーム認定予定(※2017 年度 4 チーム(聴導犬2、介助犬 2))</p> <p><b>II, インターネット関連 実施</b></p> <p>① インターネット活用→Sales フォースなどの勉強会に継続的に参加予定</p> <p>② 独自の募金展開予定→ 例:F 社様との聴導犬普及のための募金および普及活動。LC および RC への広報と募金箱の設置を依頼予定</p> <p>③ 会員限定の特別頁を開設</p> <p><b>III. 本部と事務所:</b></p> <p>(1) 東京事務所→東京支部: 2018 年 2 月 9 日東京都が支部申請受理→目的:ユーザー訓練とアフターケアおよび希望者の相談業務。普及活動:施設長:MAYUMI、事務業務委託:T さん、訓練業務委託:O さん(日本聴導犬・介助犬訓練士学院第 4 期卒)</p> <p>(2) 関西事務所: 2018 年度以降で芦屋近辺での仮店舗にて支部展開開始予定→施設長:Y 様、訓練業務委託:O さん(第 5 期卒)、顧問:O 様</p> <p>※現在:支部の施設準備金として約 3000 万円を積み立てました。</p> <p>(3)本部:(福)日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」</p> <p>①訓練スタッフ現在7名(業務委託含)→予定9名(うち、2 名は第9期日本聴導犬・介助犬訓練士学院卒業生。スタッフ O は結婚のため退職→関東での訓練業務委託。O さん(第 5 期卒業)→関西での訓練業務委託。S さん(第 1 期卒)→愛知県での広報支部長)</p> <p>②事務スタッフ現在 4 名→予定6名(東京事務業務委託 T。本部事務パート2名)採用。</p> <p><b>IV:聴導犬・介助犬希望者</b></p> <p>2018 年度は 3 名が認定試験受験予定。次年度は 5 名認定につなげたい。引き続き、聴覚障がい関係諸会に向けて資料送付→東京、神奈川などの聴覚障害者団体でのデモを実現。(※ 2017 年度 30 件問合せ。相談・面接 17 組うち、4 組が身体障害者補助犬認定試験に合格。毎年、各地での 100 回以上の講演会および全国3カ所での「聴導犬・介助犬なんでも相談室」で、年間 30 名前後の問い合わせなどを受け、そのうちの 10～15%認定試験実施</p> <p>※2016 年度聴導犬 4 チーム。2015 年度 3 チーム合格(40 件の問い合わせ中、相談・面接 29 名:2014 年度 2 チーム合格(30 件の問い合わせ中、相談・面接 26 名のうち2チーム合格)</p>
2	<p>◆収支:一般寄付を増やすために、SNS および Loppi、かざして募金、canpanカード決済。クラウドを活用したイベントへのお誘いなどを、こまめに行った。</p> <p>・2018 年予定 約7千万円(内訳:2千万円遺贈含む。社会福祉法人事業:5 千万円 ・公益事業:1千万円 ・その他の収入:1千万円)</p>

	<p>◆協会犬:40頭前後に増やす予定</p> <p>①(2017年度 協会犬47頭のうち33頭在籍)</p> <p>②「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家から合計18カ所(新規:沖縄の動物保護団体)。新家族(補助犬にならない候補犬の里親)リストを作成予定 ・新規候補犬:10頭予定(2017年は8頭)</p> <p>・より良い候補犬育成は、英国聴導犬協会での研修を予定</p>
4	<p>◆講演会:講演会総数予定200回前後に減らす(2017年度:デモ・講演会・研修受272回。施設利用者数2802名) バスツアー予定:60件(2017年度57件)のための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成を実施→例:駒ヶ根観光協会様とのコラボ 教育関係:大学・専門学校等の講義を増やす。獣医師関連でのイベント参加を増やしたい</p>
5	<p>◆ユーザー:3チーム予定(2017年4チームが認定)</p>
社会福祉事業:補助犬認定に関して	
6	<p>認定試験実施:3チーム予定(2017年度は4チーム)</p> <p>・自宅での試験(体調の変化が著しい介助犬希望者の場合など)実施</p> <p>・兵庫県依頼で審査・認定試験をご依頼を受ける予定</p>
7	<p>・他団体からの認定試験→なし</p>
8	<p>・日本聴導犬協会の認定試験は年2回(5月か10月と2月)の2度試実施したい</p>
社会福祉事業:候補犬の確保	
9	<p>「聴導犬候補犬ネットワーク」へのご協力をお願いする団体を増やす→現在、全国18カ所(沖縄県の動物保護団体)。適性のある候補犬がいる場合は連絡をもらい、候補犬を探させていただくネットワーク。今後も良心的な保護団体からの協力をはかる(ネットワーク活性化のために助成金への申請予定)</p>
10	<p>繁殖計画 英国聴導犬協会に研修予定</p>
11	<p>新家族:10頭(2017年度は8頭:こぶじ、ふく、ゆう、きち、れん、こりん、けん、あぶりい)</p>
12	<p>関係諸動物愛護団体との相互リンク→未定</p>
社会福祉事業:聴導犬・介助犬を増やすための普及活動	
13	<p>・各地の聴力情報センターでの広報活動協力をお願い⇒福井、横浜、東京でデモを実施予定</p> <p>・「聴導犬・介助犬なんでも相談室」定例開催</p>
14	<p>総合プロデュース&amp;事務局:聴導犬・介助犬普及パレードを開催予定</p>
15	<p>V:『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働</p> <p>① 長野、東京、大阪「聴導犬・介助犬なんでも相談会」で、「全日本聴導犬ユーザーの会」メンバーが希望者の直に相談を行う。ユーザーによる自主的な地元イベント。普及活動を計画(例:摂津まるごと。大阪みみの日など)。個々のユーザーから協力も活発にしたい</p>
16	<p>VI: インターネットの活用</p> <p>サポーター会員限定の特別頁を作成・更新。</p> <p>Facebook「日本聴導犬協会」(いいね22000)と「補助犬と応援団」による聴導犬・介助犬の普及活動を実施。Facebook「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」で入学生募集</p> <p>ホームページを更新。2016年12月アップ済み</p>
助成金・補助金	
17	<p>◆2018年度は3件の申請予定</p> <p>① WAM⇒できませんでした ②郵便年賀⇒車申請済み</p> <p>② その他 ⇒予定:オリンピック&amp;パラリンピック時の補助犬受入れ事業 AAAの養成 (Re:2017年度は申請3件(予定4件)申請)</p>

	① JKA300 万円(研修) →不採 ②年賀寄附 400 万円(車) → 結果待ち ③ 伊那谷基金 50 万円(ゴミ処理機) → 決定
	教育への寄与
18	◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院 2018 年度 10 期生 2 名(受験および問合せ 6 名のうち)入学予定(※2017 年度は 3 名入学。特別枠に、ユーザー希望者 3 名→スタッフ採用 2 名。臨時スタッフ採用ユーザー2 名)。 補助犬に関する授業:前年度どおり国立身体障害者リハビリテーションセンター学院、2 大学、専門学校での授業を実施予定 ・職場体験&研修生受入れ。積極的に実施 日本福祉大学、日本獣医生命科学大学、帝京科学大学、帝京科学大学と専門学校からの研修生の受入れ実施
19	関西事務所での営業:地元 LC 様による事務所近辺学校への普及啓発活動の説明実施。
	公益事業:普及活動
20	講演会・研修会・デモ:200 回前後に減らす (※2017 年度 270 件うちご来所デモ 57 回:約 233 万円の収入)実施
21	「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」 第 11 期生 4 名入学予定。 第 10 期生 2 名(応募 6 名のうち)入学決定 第 9 期生 3 名(応募 5 名のうち)+ユーザー3 名 ・海外研修予定:助成金申請予定。2017 年海外研修:「英国介助犬協会」「豪州補助犬協会」、「英国聴導犬協会」
22	Pro-Dog School(日本聴導犬協会による地域社会貢献活動):40 組予定 (2017 年度は 39 組(約 100)。例年 30 組前後の地元愛犬家を中心とする受講者が参加し、次の愛犬家を育てるためのインストラクターとなる。県の監査からもこの地元愛犬家を育てる良循環は高く評価されました。 ・犬同伴避難テントを購入予定
	パブリシティ
23	SNS での展開:Facebook の他、スタッフ 3 名も Twitter での参加をし、SNS を盛り上げています。 新図書:未定/ 20 周年記念 冊子作成中
	支部&事務所の運営
24	I :関西事務所はデモや研修会の際に利用。地元 LC 様による教育委員会や聴導犬支援へのお願いを行っていただいております。 (Re:2016 年度の実施報告:関西方面ユーザー6ペアの訓練とアフターケア/ 関西方面ユーザー1 名 自宅指導のために利用/ 希望者の面接/ 地元 LC 式典(2月招待)参加/ 兵庫県での学校関係でのデモ実施 ◇「支部」化について:関西事務所→ 2018~20 年までに施設建設または借家 理由1 関西事務所としてボランティアさん宅の 3 階 (72 m <sup>2</sup> )を借用。期間に期限がある。 理由2 関西方面でのユーザー4組と増え、今後も増える予定であることから、アフターケアや訓練、相談業務の継続のため 理由3 一般寄付を増やすために都会での協会犬の社会化を兼ねた広報の必要性がある 理由4 優秀な人材の確保(※支部建設に向けて準備金の呼びかけを開始。 関西支部用 通帳を作成。約 3000 万円を積み立) 活性化:地元の LC 様が地元の小学校等への広報や支援の呼びかけを行ってくださっています。また、広報支部長と共に、市長、市役所、他の LC 様への表敬訪問を予定している)
25	II :東京支部:2018 年 2 月 9 日付け東京都から申請受理。東京事務所が、支部になりました。

役割1オリンピック・パラリンピック時の海外からの補助犬ユーザー受入れのための準備

役割2 東京および関東地区での希望者の増加に対応

役割3 現在、協会関係者から自宅を借用しているが借用期限がある

役割4 収入を増やすために、東京での支部化は不可欠である

役割5 指導監査で、東京事務所の家屋の「無料化」または協会による「買取り」か「移動」を指導された→広報支部長と一緒に地元市長、市役所、地元ライオンズ様などへ訪問予定

役割:オリンピック&パラリンピックの時の海外からの補助犬ユーザー受入れ要望を受け国際交流事業を実施予定。

- ・各地の広報支部長のおかげで聴障協と関連構築

- ・関東方面の聴導犬ユーザー訓練を実施する

(2017 年度に東京事務所活用報告: 関東方面のユーザー4チームの相談とアフターケア/ユーザー希望者5名乗車訓練、自宅指導のために利用/ 希望者の面接/ 聴覚障がい者関連普及事業での使用)

① 候補犬の社会、訓練

認定試験まじかの聴導犬希望者の訓練および、乗車訓練、飲食店訓練などを実施。毎月のパピークラスの実施時の拠点